

試験方法については装置そのものの改善，ボーリングないしは他のサウンディング装置との部品の互換性をはかること，試験機および試験方法に関する標準規格の制定，進んでより有能な装置および方法の試作・研究等が問題である。特に現在のサウンディングが原位置における土のセン断強さを測るだけにとどまっているのを，例えば間ゲキ水圧を変化させて土の強さの推移を調べたり，また基礎地盤土のもう一つの重要な性質である圧縮性を推定できるような試験装置を作ることなどは面白い。

試験の実施については，ある現場である目的に対し最も適したサウンディング方法が採択できるように，適確な指示を与え得る親切的な指針を準備すべきで，サウンディングに伴って試料土が採取される場合には，同時に実施する必要のある土質試験項目の指定も大切である。

試験結果の判定についてはまず信頼性のある実測結果を，わが国の土について豊富に集め，各種サウンディング方法の特徴や相互間の相関性の研究はもちろん，実際構造物の設計・施工と関連して測定結果の活用法を検討してゆかねばならない。この際深さによるロッドの重量やタワミ，地下水位の高さ等が測定結果に及ぼす影響もさらに研究して，測定精度の向上を目指す必要もある。

6. あとがき

以上は主として筆者の研究室で実施してきた各種のサウンディングの経験をもととして，実際に現場で地盤土の強さを判定するサウンディングに際して参考にして頂ければととりまとめたものである。終りに文献を参照させていただいた方はもちろん，現場で研究に当たった今村芳徳君以下の研究室の諸君の努力に敬意を表するとともに，一部データの提供を受けた大成建設株式会社に対しても謝意を述べる。(1959. 2. 20)

文 献

- 1) (a) K. Terzaghi and R. B. Peck: "Soil Mechanics in Engineering Practice", J. Wiley and Sons, New York, 1948 の p. 265 または (b) 小野・星桂・加藤・三木訳: 「テルツァギ・ベック 土質力学応用編」, 丸善, 1955 の p. 237
- 2) J. Vermeiden: Improved Soundings Apparatus, as Developed in Holland since 1936", Proc., 2nd Int. Conf. Soil Mechanics, Rotterdam, 1948, Vol. I, pp. 280-287
- 3) 三木五三郎: 静荷重および動荷重による貫入試験について, 土木学会第8回年次学術講演会において講演, 1952年5月 および 三木五三郎: 貫入試験による基礎地盤の調査, 土木学会第9回年次学術講演会において講演, 1953年5月
- 4) 稲田信徳: 軟弱地盤上の築堤, 土と基礎, No. 11, 1955年9月, pp. 4-16. 土と基礎のニュース: 昭和石油の四日市製油所建設に伴う土質調査, 土と基礎, No. 16, 1956年8月, p. 8. 手島・黒沢・長井・後藤: コーンペネトrometerの使用例, 土と基礎, No. 18, 1956年12月, pp. 4-10
- 5) 三木五三郎: 赤土台地における各種サウンディング方法の比較実験とその実用性の検討, 土質工学会昭和33年度シンポジウム論文集, 1934年2月, pp. 23-44.
- 6) 大崎順彦: 「建築地盤調査法」, オーム社, 1958年, p. 165
- 7) 室町忠彦: 貫入試験による地盤断面調査の実施例, 土と基礎, No. 30, 1958年12月, pp. 5-9
- 8) 室町忠彦: 原位置試験, 土と基礎, No. 16, 1956年8月, pp. 40-45.
- 9) G. G. Meyerhof: Penetration Tests and Bearing Capacity of Cohesionless Soils, Proc., ASCE, Vol. 82, No. SM1, Paper 866, 1956, 19p.
- 10) (1a) p. 430 または (1b) p. 393 および Peck, Hanson, and Thornburn: "Foundation Engineering", John Wiley & Sons, New York, 1953, p. 222.
- 11) C. Vander Veen and L. Boersma: The Bearing Capacity of a Pile, Pre-determined by a Cone Penetration Test, Proc., 4th Int. Conf. Soil Mechanics, London, 1957, Vol. II, pp. 72-75.
- 12) 小川・手島・藤田・横田: 八郎潟におけるサウンディングについて, 土質工学会昭和33年度シンポジウム論文集, 1934年2月, pp. 45-54.
- 13) E. Schultze and H. Knausenberger: Experiences with Penetrometers, Proc., 4th Int. Conf. Soil. Mechanics, London, 1957, Vol. I, pp. 249-255.
- 14) P. Barentsen: Short Description of a Field-Testing Method with Coneshaped Sounding Apparatus, Proc., 1st Int. Conf. Soil Mechanics, Cambridge, Vol. I, pp. 7-10, 1936.
- 15) 室町忠彦: 粘性土における コーン貫入抵抗と一軸圧縮強度との関係, 土木学会誌, Vol. 42, No. 10, 1957年10月, pp. 7-12.
- 16) 三木五三郎: トラ フィカ ビリ ティー の判定法について, 建設の機械化, No. 94, 1957年12月, pp. 28-31.
- 17) 上田嘉男: スエーデン式サウンディングロッドについて, 土と基礎, No. 23, 1957年10月, pp. 9-12.

次号予告(4月号)

研究解説

- 高炉スラグ砕石を骨材として用いた 丸安 隆和
コンクリートの性質について 小林 一輔
水野 俊一
- パラメトリック増幅器とその雑音指数 斎藤 成文

海外事情

- ダム見学の記 岡本 舜三

研究速報

- 平板状に設けた堰による剝離流の熱伝達 橋 藤雄
堀 晃
- 嵌殺し窓の気密水密試験 勝田 高司
後藤 滋二
寺沢 達二
- ファイバークトの遮音性能に関する実験 勝田 高司
後藤 滋二
寺沢 達二

正 誤 表 (2月号)

頁	段	行	種別	正	誤
表紙	2		目次	水銀スルホ サリチル酸	水銀サリチル酸
3	左	第1図		% 減量	% 減量
2	1	右	第2図 (横軸)	0 0.05 0.1	0 0.05 1.0
"	"	第3図 (横軸)		0.15 0.20 0.25	1.5 2.0 2.5